

【様式】

令和6年度 学校マネジメントシート

学校名(伊賀白鳳高等学校)

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿		「力」と「志」を持った職業人を育成し、地域に貢献できる学校 ～地域の学校として、地域の子どもたちを地域で活躍できる人材に育成する学校～
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	・自ら学び、判断し、行動する生徒 ・思いやりの心と規範意識をもち社会に貢献する生徒 ・専門的な知識・技術を身につけ、未来を切り拓く生徒
	ありたい教職員の姿	・生徒の最も身近にいる大人として、大人の見本を示すことのできる教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>〈生徒〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の充実と自己実現への支援(進路・学力保障、資格取得、部活動、ICT 機器の活用) <p>〈保護者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長(基本的な生活習慣、学力、マナー、部活動等)と進路保障 <p>〈地域〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識・技術、人間性を身に付けた人材育成 ・専門性を生かした地域と連携した取組 	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>〈保護者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上 ・資格取得等の専門的な知識技術を生かした進路保障 <p>〈企業等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業人、社会人として活躍できる人材育成(基礎学力、専門知識・技術、マナー、コミュニケーション能力等) <p>〈大学・短大・専門学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学後困らない基礎学力とコミュニケーション能力の定着 <p>〈中学校・小学校・保育園等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の専門高校としての役割 ・系統的なキャリア教育のパートナー <p>〈地域〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の持つ資源(専門知識、技術、人、施設等)の提供 ・地域活性化への貢献 ・防災拠点 	<p>〈保護者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ともに生徒を育てていくための学校教育への理解と協力 ・生徒の健康管理 <p>〈企業等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ、デュアルシステム等の受け入れ ・安定した雇用の継続 <p>〈大学・短大・専門学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より高度で専門的な知識・技術等の獲得 ・進路先としての生徒の受け入れ <p>〈中学校・小学校・保育園等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・継続的な指導のための、生徒個々の情報の提供 <p>〈地域〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育への支援

(3)前年度の学校関係者評価など		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末を活用した、魅力ある授業を目指してほしい。 ・就職選択者は貴重な人材である。仕事を辞めずに続けてもらえるとありがたい。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響でコミュニケーション能力の低下が心配である。IT化が進んでも対面でのコミュニケーションは大事である。中学生には高校を、高校生には大学や会社を見に行かせてほしい。 ・「あいさつ・おもいやり・時間厳守」を身につけられる指導を続けてほしい。 ・働きやすい職場環境づくりのために、1つの業務に対して複数人で行える体制を整えたり、役割分担はしつつも周りで協力し合って業務を行えたりすることも重要である。
(4)現状と課題	教育活動	<p>学習活動の定着のため、専門的な知識・技術の他に、基礎学力とともにコミュニケーション能力や規範意識を育む必要がある。</p> <p>生徒の自尊感情を育むために、課題克服の達成感を伴う教育活動が求められている。</p>
	学校運営等	<p>様々な課題の解決のため、関係機関との連携・協力の体制づくりを進める必要がある。</p> <p>多岐にわたる教育活動による教職員の過重労働時間の過多から、業務を複数人で行う体制づくりや、職員間の協力体制を整える必要がある。</p>

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の興味・関心や適性に合った進路を選択し、その実現に向けて、社会で求められる基礎学力、専門知識・技術とともに、社会的マナーやコミュニケーション能力を身につけた生徒を育成する。 ・検定合格や資格取得、部活動における成果等を通して、生徒の自尊感情を高め自信とやる気を引き出し、自己実現に向けて努力する生徒を育成する。 ・生徒の人権感覚を磨き、相手の立場に立って行動することができる、思いやりの心を育てる。 ・地域の教育力を活用し、生徒が主体的に活躍することで、生徒自らの自尊感情を高め、地域の活性化に貢献できる生徒を育成する。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会の活性化をはかり、教員一人一人の授業力向上に取り組む。 ・生徒や保護者と積極的にコミュニケーションをとり、複数の教職員が係わりながらきめ細やかな教育相談や支援を行う ・総勤務時間の縮減や休暇の取りやすい職場など、働きやすい職場づくりをめざす。 ・風通しのよい職場づくりに取り組み、個々の教職員との対話を大切にし、学校に対する思いを共有し、全教職員の意思統一を図る。

4 求める生徒像

入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動にまじめに取り組むことができる生徒 ・健康管理、自己管理ができ、自己表現力とコミュニケーション能力のある生徒 ・校内外における自発的な活動(スポーツ・文化活動、生徒会活動、人権活動、ボランティア活動等)に熱心に取り組み、継続して意欲的に活動できる生徒
---------------------------------	--

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導	<p>()内は令和5年度の数値</p> <p>○ICTの活用した授業実践に努める。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人1台端末を活用した授業を実践する教員 100% <p>(ICT 機器の活用率:75%)</p> <p>○学力の定着を図るために、グループワークや発表の機会を積極的に取り入れる。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークや発表の場をすべての教員が実践する。 <p>(実施率100%)</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で主体的に考える、表現できている生徒 90% (84.7%) <p>○基礎学力の向上をはかる。</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎力診断テストにおける国語、数学、英語の GTZ が、各学年、C3 以上 40%以上 D2 以上 75%以上 (1年38.9%、69.6% 2年 33.3%、77.1% 3年25.6%、72.1%) <p>(診断テストを本年度から変更する。結果を精査し次年度の成果指標を設定する予定。)</p>	(年度末および適宜記載)	
各学科における指導	<p>○各種資格・検定試験の合格率を向上させ、生徒の学習意欲や自信を育み進路実現につなげる。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科で実施する資格・検定等の合格率を設定し、指導の充実を図る。(設定した学科100%) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定や資格の合格率を70%以上(53.4%) <p>○安全教育を徹底する。</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習における事故、怪我を0にする。(1件) <p>○地域や関連産業との連携をすすめる。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や関連産業との連携した取組を年間5回(5回以上) 		

生活指導	<p>○教育活動全般を通じて、授業を大切に、規範意識や挨拶、言葉遣いの指導を行う。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員から積極的な挨拶を行う。 ・チャイムにより授業を開始する。100%(100%) ・教室では、防寒着を着ないように指導する。100%(85%) ・学校遅刻、授業途中入退室を減らす。(1クラス月平均)(学校遅刻 10.1人【前年比0.1人減】)(授業途中入退室5.8人【前年比1.4人増】) 		
進路指導	<p>○生徒が進路を切り拓く力を、各科、各分掌で意識して系統的な取組を実践する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科と連携した進路相談、面接指導の充実を図る。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「就職・進学について自己実現ができた」3年次生徒100%。(97.1%) ・進路相談シートを活用する生徒 100%(100%) ・学校斡旋を希望する就職希望者の内定率 100%(100%) ・進学希望者の希望実現 100%(100%) <p>○学校行事においてキャリア形成を意識させる教育活動を実施する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年別進路ガイダンスの実施 ・2年次のインターンシップの実施 ・全学年でのキャリアパスポートの活用 		
人権教育	<p>○人を傷つけない行動をするための生徒の主体的な取組を支援する。</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の大切さと共に他の人の大切さを認める力が高まった。」と感じている生徒 80%以上 (95.1%) ・生徒が主体的に取り組む学習活動 年3回以上 ・人権面談 年1回 		
部活動	<p>○部活動を通して競技力の向上を図るとともに、人間力の向上を目指す。</p>		
改善課題			
(年度末に記載)			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
教員の指導力向上	<p>○常に授業改善を実践する。</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業見学の実施 80%以上(66.7%) <p>○高いコンプライアンス意識を持つ。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修 年間3回 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の学校満足度90%以上(88.8%) 	(年度末および適宜記載)	
広報活動	<p>○小学生、中学生、地域等への情報発信を積極的に行う。</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP、インスタグラムの更新を年間80件以上、フォロー1000人以上。広報紙年間10回 (70件、970人10回) ・ケーブルテレビ等での放送回数:50回 (40回) ・中学生の本校への進学希望者数を定員の1.03倍 (1.03倍) 		
防災・危機管理	<p>○危機管理意識を高める。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練・避難訓練年間2回(2回) ・防災講話年間1回(1回) 		
教育相談 特別支援 人権	<p>○教育相談、人権、特別支援の各担当を軸に、各分掌が連携を密にし、適切な対応、指導を行い、学校生活を充実させる。</p> <p>○多くの教職員がいることを強みとして、生徒との関わりを深める。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な情報交換を年間12回開催。(16回) ・人権面談、進路面談を実施する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談できる人がいる割合80%以上 (本校職員:52% 本校生徒:76.9% 本校以外:79.1%) 		
働きやすい 職場環境	<p>○チーム「白鳳」として、業務を複数人で行うなど、チームワークを大切にされた体制を構築する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の情報共有、資料の事前配布により、会議の回数や会議の時間を減じる。 ・定時退校日に退校できた教職員の割合 80%以上 (71.2% 12月) ・計画した日に休養日を設定できた部活動の割合 100% (99.7% 12月) ・放課後に開催された職員会議、企画委員会を60分以内に終了する会議の割合 80% (46.6% 12月) 		

	【成果指標】 ・1人当たりの月平均時間外労働時間30時間以下 (16.9 1月) ・月45時間を超える時間外労働者の延べ人数 0人 (79人 1月) ・年360時間を超える時間外労働者の人数 0人 (12人 1月) ・一人当たりの年間休暇取得日数 平均17日以上 (17.4日 1月)		
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次への 取組方向	(年度末に記載)
-----------------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動について の改善策	(年度末に記載)
学校運営について の改善策	(年度末に記載)